

主な内容

特集 1~2
令和4年度予算

トピックス 3~4
●北九州市の
新型コロナワクチン情報
●北九州市ほたる館が開館20周年を
迎えます など

まちがいファイブ 5
情報ステーション 6~11
*最終ページは人口データと若松区の情報

特集

令和4年度予算

~SDGsを原動力に日本一住みよいまちへ~
未来への飛躍に向けたまちづくり推進予算

市長からのメッセージ

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に対し、市民の皆さんへの迅速なワクチン接種を進めるなど、感染症拡大防止に向けた積極的な取り組みを行いました。同時に、「東アジア文化都市北九州2020 ▶21」や「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」の開催など、まちのにぎわいづくりの創出につながる事業にも果敢に挑戦してきました。

令和4年度においても引き続き、ワクチン接種の円滑な実施や検査・医療提供体制の確保、自宅療養者の支援などに取り組みます。

また、デジタル化や脱炭素社会に向けた政策を推進し、「環境と経済の好循環モデル」の構築を目指すとともに、スタートアップ企業の創出・育成の強化や若者の地元就職支援など、企業や人の新たな流れを創出します。

さらに、空き家問題や防災などの課題への対応、子育て・教育環境のさらなる充実など、安心して住み続けられる環境の整備を進めます。

これらの取り組みを通じて、感染症対策と社会経済活動の両立を図るとともに、「日本一住みよいまち・北九州市」を目指して全力で取り組んでまいります。

北九州市長 北橋 健治



令和4年度予算の主な取り組み

「日本一住みよいまち」の実現に向けた取組の総仕上げ

SDGsを実践し、誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくりに取り組みます。

■地域の生活交通の確保 1億9800万円

公共交通空白地域における生活交通を確保するため、おでかけ交通を運行するタクシー事業者や車両の小型化により路線を維持するバス事業者への支援を行います。



■若年層保育士に対する処遇改善 3500万円

保育人材の安定的な確保などを図るため、民間保育所などが経験年数3年未満の若年層保育士に対し、就職時準備金や処遇改善手当を給付した場合の費用を補助します。



■ヤングケアラー相談支援事業 1000万円

大人が担うような家族の介護などを行うヤングケアラーを早期に見察するため、相談窓口を設置し、適切な支援につなげるとともに、心のケアや関係機関との連携による支援を実施します。

■不登校等総合支援事業

~不登校等支援センター設置事業~ 1200万円

不登校児童生徒の社会的自立に向けて、「不登校等支援センター」を設置します。

不登校等支援センターは、市内に4カ所ある不登校児童生徒の教育相談や学習支援を行う「教育支援室」を総括し、子ども総合センターなどの関係機関との連携強化を図るための新しい組織です。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門相談員を派遣し、不登校児童生徒や保護者などに対し、寄り添った支援を行います。

経済の好循環を生み出す成長戦略の実行

地域経済の復活に向けて、本市の成長・飛躍につながるプロジェクトを着実に進めます。

■風力発電関連産業の総合拠点の形成

..... 18億5600万円

若松区響灘地区の充実した港湾と広大な産業用地を活用し、風力発電に関連する産業の総合拠点形成を進めます。

- 洋上風車の積み出しなどの拠点となる基地港湾や、風力関連企業を誘致するための分譲用地などを整備します。
- 風力発電関連産業の総合拠点化に向けて、人材育成を図るとともに、産学官の連携による人材確保を促進します。



■脱炭素社会の実現に向けた

“再エネ100%北九州モデル”の推進 10億5200万円

市の施設や市内企業などにおいて、太陽光発電設備や蓄電池、省エネ機器などの設置を進めます。

■地域資源を活用したにぎわい創出関連予算

..... 1億3600万円

- 重要文化財の指定に加え、開通60周年を迎える若戸大橋の魅力を発信するため、ウォーキングイベントや記念式典などを開催します。
- 20周年を迎える到津の森公園や、いのちのたび博物館では、展示エリアのリニューアルなどを行います。

